

2 - 1 コミュニケーション能力を高めるための聞く力・話す力の育成

1 上手な聞き方・話し方及び発表や意見をつなげる話形の 패턴の設定

上手な聞き方・話し方及び発表や意見をつなげる話形の pattern を決め教室に掲示したり、プリントしたシートを児童一人一人に持たせたりすることで、定着を図っている。全校統一して取り組むことと、各学年で取り組むものを明確にして実施することで、発達段階に応じた無理のない表現力の育成につながると思われる。



< 1年生を迎える会の感想発表 >

上手な聞き方・話し方について		発表や意見をつなげる話形の pattern	
自分の学年の上手な聞き方・話し方ができているかな。		下の言い方を参考にして、話し方がうまくなるように、頑張ってみよう。	
学年	上手な聞き方	場面	発表の仕方(話し方)(例)
全・低・中・高	1 していることをやめる。 2 相手の顔を見る。 3 最後まで聞く。	意見を発表するとき	わたしの考えは〇〇です。(わたしは〇〇だと思います。)理由は(わけは)「 」だからです。
	1 聞き手を見て話す。 2 最後(最後まで)まではっきり話す。 3 「はい、～だと思います。それは～だからです。」	賛成のとき	わたしは、〇〇さんの意見に賛成です。それは(わけは)、「 」だからです。 わたしは、〇〇さんの考えと同じで「 」です。それは(わけは)、「 」だからです。
	4 同じところ・似ているところ・違うところなどに気をつけて聞く。	意見や考えが違ったとき	わたしは、〇〇さんの考えとは少しちがって「 」です。それは(わけは)、「 」だからです。
	5 自分の意見や考えをもちながら聞く。	つけたしたとき	〇〇さんの意見につけたします。
	6 話し手の意図を考えながら聞く。	質問するとき	〇〇さんに質問します。それは、「 」ということですが、もう一度説明してください。
	5 伝えたいことをはっきりさせて話す。		
	6 自分の言葉で自分の思いが相手に伝わるように話す。		

< ワークシート >

2 集会や全校代表委員会における表現力の育成

集会や代表委員会では、思いを聞き合ったり、伝え合ったりする機会をできるだけ多く取り入れてきた。発表する側も聞く側もねらいをはっきりさせて参加することで、感想発表や意見交換では、徐々に自分の言葉で思いを伝えることができるようになった。また、活動後に感想カードや日記など、書く活動を取り入れることで自分の思いをより確かに行うことができた。このような活動の積み重ねによって、伝え合うことの大切さや楽しさに気付くだけでなく、表現することの自信につながった。



< なかよし集会の様子 >



< 感想カード >